口

公公告

報

○告示

目

次

11月18日 (火曜日)

7 年

令 和

特定建設工事共同企業体の一般競争入札の参加資格の審査(建築指導課)……………………

山口県告示第三百六十四号

ればならない区域 害物質によって汚染されており、土地の形質の変更をしようとするときの届出をしなけ 土壌汚染対策法(平成十四年法律第五十三号)第十一条第一項の規定により、特定有 (以下「形質変更時要届出区域」という。) を次のとおり指定する。

令和七年十一月十八日

口県知事 村 岡 嗣 政

Ш

形質変更時要届出区域

周南市野村南町四八三八の一の一部及び四九七六の一部

特定有害物質の種類

六価クロム化合物並びにふっ素及びその化合物

土壤汚染対策法施行規則(平成十四年環境省令第二十九号)第五十八条第五項第十

一号に該当する。

号から第十三号までの規定への該当

周南市野村南町四九七六の一部は、土壌汚染対策法施行規則第五十八条第五項第十

う。)並びに当該経営規模等入札参加資格の審査の申請の時期、 必要な経営の規模及び状況を要件とする資格(以下「経営規模等入札参加資格」とい り、県東部地域県立武道館(仮称)新築工事の契約に係る一般競争入札に参加する者に 山口県告示第三百六十五号 地方自治法施行令(昭和二十二年政令第十六号)第百六十七条の五第一項の規定によ

令和七年十一月十八日

おり定めた。

山口県知事 村 岡 嗣

政

方法等について次のと

県東部地域県立武道館(仮称)新築工事

工事場所 岩国市牛野谷町一丁目及び川西四丁目地内

工事の概要

鉄筋コンクリート造 地上二階建	構造
九、九〇七・八一平方メートル	延べ面積

経営規模等入札参加資格

独

構成するものに限る。)とする。 入札に参加できる者は、次に掲げる要件のいずれにも該当する共同企業体(三者で

共同企業体の構成員のいずれもが次に掲げる要件のいずれにも該当する者である

2 定する特定建設業の許可(建築工事業に係るものに限る。)を受けていること。 出資比率が二十パーセント以上であること。 建設業法(昭和二十四年法律第百号。以下「法」という。)第三条第六項に規

事が通知した法第二十七条の二十九第一項に規定する総合評定値のうち直近のもの 共同企業体の代表者の令和七年十一月十七日までに国土交通大臣又は都道府県知 (以下「総合評定値」という。) の建築一式工事の数値が千六百以上であること。

ること。 共同企業体の代表者以外の者の総合評定値の建築一式工事の数値が九百以上であ

県

経営規模等入札参加資格の審査

同企業体競争入札参加資格審査申請書及び次に掲げる書類(以下「申請書等」とい 共同企業体競争入札参加資格審查申請書等 経営規模等入札参加資格の審査を受けようとする者は、告示四の〇に規定する共

共同企業体協定書の写し

)を提出しなければならない。

総合評定値通知書の写し

2

3 特定建設業の許可通知書の写し

委任状

申請書等の提出方法

第三十二号)第三条第一項の規定により同項に規定する電子情報処理組織 「電子入札システム」という。)を使用して提出するものとする。 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例(平成十六年山口県条例 。 以 下

申請書等の提出期間及び時間

令和七年十一月二十八日から同年十二月三日までの午前九時から午後四時三十分

(四) 経営規模等入札参加資格の審査結果の通知方法

適合通知書又は経営規模等入札参加資格非適合通知書により行う。 電子入札システムを使用して令和七年十二月十日までに経営規模等入札参加資格

-三八三〇)にすること。

この審査についての問合せは、

山口県土木建築部建築指導課(電話○八三−九三三

山

口

兀

山口県告示第三百六十六号

より、 地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百三十一条の二の三第一項の規定に 指定納付受託者を次のとおり指定した。

令和七年十一月十八日

山口県知事 村 岡 嗣 政

指定納付受託者の名称、住所又は事務所の所在地

三菱総研DCS株式会社 東京都港区三田三丁目五番一九号

指定納付受託者に納付させる歳入

山口県立高等学校入学試験料(全日制課程及び定時制課程に限る。)(インター

ネットを利用して納付されるものに限る。)

指定の日

令和七年八月二十九日



(二一八) 柳井都市計画道路の変更の案の縦覧

画道路を変更したいので、 都市計画法 当該変更に係る柳井都市計画道路の案を次のとおり縦覧に供します。 (昭和四十三年法律第百号)第二十一条第一項の規定により、柳井都市計 同条第二項において準用する同法第十七条第一項の規定によ

令和七年十一月十八日

山口県知事 村 岡

嗣

政

都市計画の種類及び名称

柳井都市計画道路三・二・一南柳井線

都市計画を変更する土地の区域

 \equiv 柳井市南町四丁目、 南浜一丁目、 南浜二丁目、 南浜三丁目、 南浜四丁目及び柳井

区域の変更

三

変更の内容

都市計画の案の縦覧期間

兀

令和七年十一月十八日から二週間

都市計画の案の縦覧場所

Ŧī.

山口県土木建築部都市計画課及び柳井市建設部都市計画課

(二一九) 一般競争入札の実施

七年政令第三百七十二号)の規定が適用される契約に係る一般競争入札を実施します。 次のとおり地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令(平成

令和七年十一月十八日

次に掲げる工事の請負 入札に付する事項

> 山口県知事 村 岡 嗣 政

 (\Box)

工事名

工事場所 県東部地域県立武道館 (仮称) 新築工事

 (\equiv) 工事の概要

岩国市牛野谷町一丁目及び川西四丁目地内

鉄筋コンクリート造 地上二階建	構
九、九〇七・八	延
_	べ面
平方メート	積
トル	

(四) 工期

この入札により締結する契約に係る議会の議決のあった日の翌々日から約二十八

(<u>Fi</u>)

るべきものを除く。)を受け付けるVE方式の工事である その他 この工事は、 契約締結後に施工方法等の提案 (十一の○に基づく評価の対象とな

工事概要書及び入札説明書等の配布

県

口

(____)

山口県入札情報ポータルサイト

入札参加資格

Щ

令和七年十一月十八日から令和八年一月十五日まで

ると認められる共同企業体で次に掲げる要件のいずれにも該当するものとする。 く資格審査において、経営の規模及び状況を要件とする一般競争入札参加資格を有す に関する告示(令和七年山口県告示第三百六十五号。以下「告示」という。)に基づ

入札に参加できる者は、特定建設工事共同企業体の一般競争入札の参加資格の審査

- う。)第百六十七条の四第二項各号のいずれかに該当して一般競争入札又は指名競 用人又は入札代理人として使用する者でないこと。 争入札に参加させないこととされている者及びその者を代理人、支配人その他の使 共同企業体が地方自治法施行令(昭和二十二年政令第十六号。以下「政令」とい
- 本工事の指定部分に係る見積書を提出した共同企業体であること。
- 共同企業体の構成員のいずれもが次に掲げる要件のいずれにも該当する者である
- 政令第百六十七条の四第一項又は第二項に規定する者でないこと。

- 2 一に掲げる工事 でないこと。 (以下「本工事」という。) において他の共同企業体の構成員
- 止を受けていないこと。 ても山口県建設工事等入札参加資格者に係る指名停止等措置要領に基づく指名停 令和七年十一月十八日から令和八年一月二十七日までの間のいずれの日におい

3

- 4 三第一項の経営事項審査を受けている者であること。 建設業法(昭和二十四年法律第百号。以下「法」という。)第二十七条の二十
- 共同企業体でないこと。

5

- 本工事における設計業務の受託者でないこと。
- 共同企業体の代表者が次に掲げる要件のいずれにも該当する者であること。
- 1 改築工事をいい、修繕、模様替又は移転等の工事を含まない。 限る。)を施工した実績を有していること。なお、建築工事とは、建築基準法 で、平成二十二年四月一日から令和七年十一月十八日までの間に完成したものに に限る。)として建築工事(延べ面積五千平方メートル以上の屋内スポーツ施設 (昭和二十五年法律第二百一号)第二条第十三号による建築物の新築、 元請負人又は共同企業体の構成員(出資比率が二十パーセント以上であるもの 増築又は
- 2 専任で配置できること。なお、 監理技術者(以下「監理技術者」という。)で、直接的かつ恒常的な雇用関係 項の国土交通大臣の登録を受けた講習(以下「登録講習」という。)を受講した 監理技術者の配置は認めない。 (告示三)に規定する共同企業体競争入札参加資格確認審査申請書等の提出の日 建築工事業に係る監理技術者資格者証の交付を受け、かつ、法第二十六条第五 (以下「提出日」という。)以前に三月以上)があるものを本工事の工事現場に 法第二十六条第三項第二号の規定の適用を受ける
- (五) 上)があるものを本工事の工事現場に専任で配置できること。 「主任技術者」という。)で、直接的かつ恒常的な雇用関係 共同企業体の代表者以外の者が法第二十六条第一項に規定する主任技術者 (提出日以前に三月以 以下
- 設計図書の縦覧及び配布

(--)

場所

山口県入札情報ポータルサイト

日時

令和七年十一月十八日から令和八年一月十五日まで

- 五. 契約条項を示す場所 山口県土木建築部建築指導課
- 入札の方法

六

審査基準

山口市滝町一

番一号

山口県土木建築部入札控室

県

 (\Box)

場所

より行うので、 入札書の記載方法、提出場所及び受領期限 この入札は、政令第百六十七条の十の二第三項に規定する総合評価一般競争入札に 提案書その他の入札説明書に定める書類を提出すること。

記載方法

る額(以下 額をもって落札価格とするので、入札者は、見積もった金額の百十分の百に相当す る額(その額に一円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の百分の十に相当す 「入札金額」という。)を入札書に記載すること。)を加算した金

提出場所

山口県土木建築部建築指導課

 (\equiv) 受領期限

令和八年一月五日午前九時から同月七日午後四時三十分

入札を執行する場所及び日時

令和八年一月十六日午前十時

九 入札保証金

無効入札 免除する。

口

+

次のいずれかに該当する入札は、無効とする。

入札参加資格のない者がした入札

山

- 記名押印(署名を慣習とする外国人にあっては、自署)のない入札
- ○及び□に掲げるもののほか、入札に関する条件に違反した入札
- 落札者決定基準 総合評価基準

落札者の決定は、価格、 施工方法等の提案及び技術的能力等の条件を総合的に評

価することにより行う。

書で定めるところにより、それぞれ評価点を求める。なお、評価点を求める際の評 提案書に記載された施工方法等の提案及び技術的能力等の条件について、 設計図

価の項目及び基準は、別表のとおりとする。

- 落札者の決定方法
- 山口県会計規則(昭和三十九年山口県規則第五十四号)第百五十四条の規定に基

は、 じ。)を得て、有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、次に掲げる場合に 価値算定のための入札価格を調査基準価格として値(評価値)を算定する。以下同 加え、入札金額で除して得た値をいう。ただし、入札価格が「山口県低入札価格調 点に別表に定める換算値を乗じて得たものの合計に履行確実点(五点)及び百点を づき定められた予定価格の制限の範囲内で最も高い評価値(評価の項目ごとの評価 査実施要領」に規定する調査基準価格を下回った場合は履行確実点を○点とし、評 落札者としない。

- 施工方法等の提案の内容が著しく不適切であると認められる場合
- ない場合 評価値が、百点を予定価格で除して得た値に百分の百十を乗じて得た値に満た

2

- 3 落札となるべき最も高い評価値を得て入札した者が二人以上あるときは、電子く 秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると知事が認める場合 それがあると知事が認める場合又は入札者と契約を締結することが公正な取引の 入札金額によっては入札者により本工事の内容に適合した履行がなされないお
- じにより落札者を決定する。

その他

契約担当者

山口県知事 村岡 嗣政

- 契約手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨
- 契約書の作成の要否

- 認結果を記載した書面を令和七年十二月十日までに発送する。 午後四時三十分までに山口県土木建築部建築指導課に提出すること。なお、 請した者については、 入札参加資格の要件の確認に必要な次に掲げる書類(告示に基づく資格審査を申 1、2、3、7及び8に掲げる書類)を令和七年十二月三日
- 2 工事の施工実績について記載した書類
- 3 監理技術者及び主任技術者の資格及び工事経験について記載した書類
- 共同企業体の構成員及びその出資比率を記載した書類

4

- 5 総合評定値通知書の写し
- 6 特定建設業の許可通知書の写し
- 監理技術者が登録講習を受講した者であることを証する書面
- 8 指定部分に係る見積書

7

口

(九)

- (五) 子情報処理組織を使用して入札書を提出することができる。 (平成十六年山口県条例第三十二号) 第三条第一項の規定により同項に規定する電 この入札については、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例
- を締結し、当該議決を経た後本契約を締結する。 この入札に係る請負契約については、県議会の議決を要するため、落札後仮契約
- 契約保証金

(七)

金融機関若しくは公共工事の前払金保証事業に関する法律 保険契約を締結した場合は、契約保証金の納付を免除する。 に代えることができる。また、工事履行保証契約又は県を被保険者とする履行保 八十四号)第二条第四項に規定する保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付 契約金額の百分の十以上の契約保証金を納付すること。ただし、国債の提供又は (昭和二十七年法律第百

契約締結後の技術提案

 (\mathcal{J}_{i})

報

当と認めたときは、設計図書を変更するとともに、必要があると認めたときは、 となるべきものを除く。)をすることができる。この場合において、当該提案を適 金額を低減することを可能とする施工方法等の提案(十一の)に基づく評価の対象 により、設計図書に定める工事目的物の機能、 負代金額の変更を行うものとする。なお、詳細については、仕様書による。 契約締結後、当該請負人は、設計図書の変更の案を記載した書類を提出すること 性能等を低下させることなく請負代

- ○) に問い合わせること。 詳細については、 山口県土木建築部建築指導課(電話○八三−九三三−三八三
- 十四四 Summary

Щ

- and Construction Department, Yamaguchi Prefectural Government Division in charge of the contract: Architectural Guidance Division, Public Works
- 2 gymnasium for the eastern area of Yamaguci Prefecture (provisional name) Construction name: New construction work of Yamaguchi prefectural martial
- Outline of construction: Reinforced concrete structure, two stories high
- Place of construction: (Main Address) 4 Kawanishi, Iwakuni City
- Government, 1-1 Takimachi, Yamaguchi City Guidance Division, Public Works and construction Department, Yamaguchi Prefectural Section in charge of procurement and contact point for the notice: Architectural
- Time-Limit for tender: 4:30 P.M. January 7, 2026

別表

_	
	評価の項目
	華
	餔
	9
	基
	準
	配点
	換算值

						技術的能力 等の条件					施工方法等 の提案
監理技術者の施 工経験の有無	監理技術者の有 する資格	標準見積書の活 用	労働安全衛生マネジメント等の 認証状況	ISO/ <i>400/ の</i> 認 証の取得の状況	ISO900/の認証 の取得の状況	同種の工事の施 工実績の有無	施工上配慮すべ き事項				高度な技術の提 案
監理技術者が平成29年4月/日から令和7年/月/8日までの間に同種工事に従事した経験を有する者であること。	監理技術者が一級建築士若しくは一級建築 施行管理技士又はこれらと同等以上の能力を 有する者であること。	全ての下請契約において標準見積書を活用 すること。	共同企業体の構成員のいずれかが労働安全 マネジメント等の認証を受けていること。	共同企業体の構成員のいずれかが国際標準 化機構が定めるISO/400/の認証を取得して いること。	共同企業体の構成員のいずれかが国際標準 化機構が定めるISO900/の認証を取得してい ること。	共同企業体の代表者が平成29年4月/日から令和7年//月/8日までの間に同種の工事を施工した実績を有していること。	施工上特に配慮すべき事項を示し、その理由及び当該事項についての技術的な所見が記載され、かつ、その内容が適切であること。	上記技術提案に係る施工計画について、3 段階で評価する。	「鉄筋コンクリート造躯体の施工精度及び 品質の向上」に関する技術提案について、3 段階で評価する。	上記技術提案に係る施工計画について、3 段階で評価する。	「木造アーチトラスの精度管理」に関する 技術提案について、3段階で評価する。
2 浜	/ 冱	/ 点	/	/ 点	/ 点	2点	4点	3点	3 海	3点	S 江
ww 0/w						24					

令和七年十一月十八日発行令和七年十一月十八日印刷

発発 行行 人所

山口県知事